

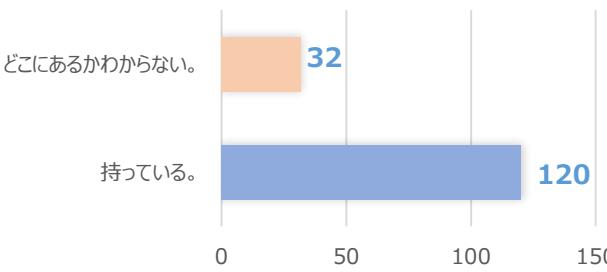
①えみふるふあいるの普及について

(1) 3歳児健診時における、声掛けとアンケートによる使用状況の把握

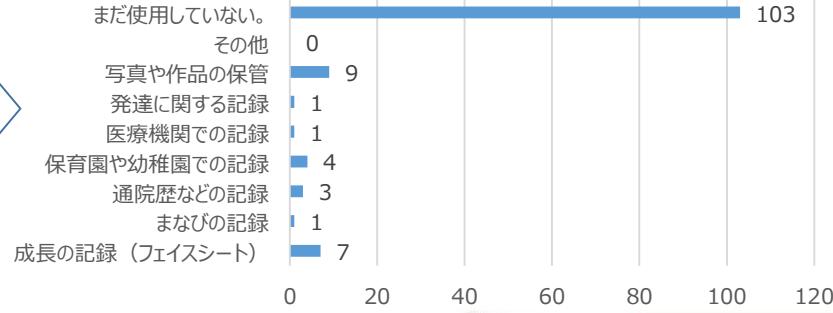
健診受付時に問診票のコピーをとり、ふあいるの目的や使用方法について、個別に職員より改めて周知を図るほか、アンケート調査を実施する。

【調査結果】 R3.3～R3.7に実施した3歳児健診受診の保護者152名から調査票を回収。

Q1 現在、えみふるふあいるをお持ちですか。(SA)



Q2「えみふるふあいる」をどのように活用していますか。(MA)



(2) 保護者に使い続けてもらうための取組

①活用シートの作成

えみふるふあいるの使い方を知ってもらうために、イラストや写真で表した「活用シート」を作成し、①記録する、②集める、③相談するの3つ活用例を提案・周知。8月配付時から活用シートについて、ファイル登載をスタート。

②オプションシートの掲載

成長曲線(男・女)や相談記録シート、検査記録シートを設け、子どもの発達段階、保護者のニーズに合わせ、市ホームページから利用が可能。相談記録シートは3歳児健診時の心理やことばの発達に関する面談時に、保護者が助言内容等を記録できるよう各ブースで用意。

(3) 支援者に活用を拡げていくための取組

①支援者向けポスターの作成

保護者への声掛けや支援開始のきっかけとなるよう、目につきやすい事務所等に掲載するポスターを作成・配付。配布先～行政、市立病院、学校、保育園・幼稚園、事業所など

②記録シート活用の促進

子育て総合支援センターが主催する支援者会議等において、相談記録シートや検査記録シートを配付し、支援者へ活用を啓発。

③説明会の開催

7月に発達支援事業所等を対象とした会議において、ファイルを活用した取組を紹介。また、9月には小中学校特別支援コーディネーター等を対象とした説明会を開催予定。



③保育所等の施設利用状況について

○教育・保育施設別利用状況の集計結果

【集計対象施設】

- ・教育利用：幼稚園5園、認定こども園幼稚園枠3園、広域入所
- ・保育利用：認可保育所12園、認定こども園保育枠3園、小規模保育事業所4園、広域入所

		R1		R2		R3	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳	未就学児童総数	391	-	370	-	343	-
	教育利用	0	-	0	-	0	-
	保育利用	83	21.2%	87	23.5%	82	23.9%
	未利用	308	78.8%	283	76.5%	261	76.1%
1・2歳	未就学児童総数	923	-	848	-	788	-
	教育利用	0	-	0	-	0	-
	保育利用	418	45.3%	415	48.9%	404	51.3%
	未利用	505	54.7%	433	51.1%	384	48.7%
3歳	未就学児童総数	503	-	469	-	466	-
	教育利用	218	43.3%	199	42.4%	196	42.1%
	保育利用	225	44.7%	229	48.8%	236	50.6%
	未利用	60	12.0%	41	8.8%	34	7.3%
4・5歳	未就学児童総数	1,088	-	1,010	-	978	-
	教育利用	531	48.8%	497	49.2%	461	47.1%
	保育利用	468	43.0%	461	45.6%	466	47.7%
	未利用	89	8.2%	52	5.2%	51	5.2%
合計	未就学児童総数	2,905	-	2,697	-	2,575	-
	教育利用	749	25.8%	696	25.8%	657	25.5%
	保育利用	1,194	41.1%	1,192	44.2%	1,188	46.1%
	未利用	962	33.1%	809	33.0%	730	28.4%

※各年4月1日時点

市内全体の児童数の減少しているが、教育利用については、3歳児、4・5歳児ともに、全体の構成比率は大きく変化していない。保育利用については、各年齢ともに、構成比率が毎年上昇しており、保育ニーズは依然高い状況が続いていることがうかがえる。